

CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版)2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.8)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	草尾プロジェクト「さくら昇草庵」新築	階数	地上3F
建設地	大阪府堺市東区草尾1162-1・1166	構造	木造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、高度	平均居住人員	53人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	8,760時間/年
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年5月 予定	評価の実施日	2013年8月30日
敷地面積	1,553 m ²	作成者	三井ホーム株式会社
建築面積	921 m ²	確認日	2013年9月5日
延床面積	2,241 m ²	確認者	三井ホーム株式会社



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.0

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.0

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.7

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 3.1

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 3.1

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.0

3 設計上の配慮事項		
総合 高齢者の住宅施設として、求められる機能性を備えるだけでなく、入居者にも、また近隣の住民からも親しんでもらえる様な木造建築ならではの暖かなイメージを大切に建築とした。	その他 木造による、大規模施設建築は、元来環境負荷がかかりにくい、CO2の削減のためにも求められる有意義な建築工法である。	
Q1 室内環境 「日本の彩り」をコンセプトとして、共有部は高級感・重厚感を演出し、居室部は、暗い気分にさせないように華やかな遊び心もちりばめる等、高齢者が満足して暮らせるインテリアを追求した。	Q2 サービス性能 バリアフリー対策を施し、かつゆとりある居室面積を確保した。また各階 commonspace を設け、入居者同士のコミュニケーションを育むとともに、各個室を界壁で区切り、プライバシーにも配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) ①道路から離れたゆったりとしたエントランスのアプローチにより、安心安全な高齢者のアプローチを確保した。②植樹帯・緑地・緑化ブロックを施し緑による景観に配慮するとともに、バルコニー等に風の通り道をつくり温熱環境にも配慮した。
LR1 エネルギー 照明にはLEDを採用し、省電力化に努める。	LR2 資源・マテリアル 木造(枠組壁工法)の特徴でもある、持続可能なカナダの森林から供給される木材を用いた当建築の構造材は、資源環境への配慮となっている。節水型設備機器を積極的に採用し、省エネルギーへの配慮をした。	LR3 敷地外環境 外観は、勾配屋根を持つ家型にして、住宅地である街なみにとけこませる工夫を凝らすとともに全周バルコニーをめぐる事で、隣家との視覚的なプライバシーの保護への効果とグレア対策への効果を狙った。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	草尾プロジェクト「さくら昇草庵」新築工事	BEE	BEEランク
	建設地	堺市東区草尾1162-1・1166-1	1	B+
	主用途／延床面積	病院 / 2,241.17 m ²		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	3	
省エネ対策	3	
みどり・ヒートアイランド対策	3	
安全快適な暮らし	3	

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO ₂ 削減		評価項目	スコア	評価点
	地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値	3.3	3
省エネ対策		評価項目	スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体	3.0	3
		住居・宿泊部分	3.0	
建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値	3.0		
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値	3.0		
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値	3.4		
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値	3.0		
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値	3.4		
みどり・ヒートアイランド対策		評価項目	スコア	評価点
	生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値	2.0	3
	敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値	3.0	
	温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値	3.0	
安全快適な暮らし		評価項目	スコア	評価点
	バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値	3.0	3
	耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値	3.0	
	地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値	3.0	
	交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値	3.0	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	